

無利子の融資制度です。

全国健康保険協会管掌  
健康保険・船員保険

### 高額医療費貸付金貸付申込書

(平成 年 月 診療分)

所得等の区分	70歳以上	一定以上所得者・一般・非課税世帯・非課税世帯で一定基準未満・多数該当		貸付申込額 金 円	
	70歳未満	上位所得者・一般・非課税世帯・多数該当			
算定式	高額療養費支給見込額(③の額+⑤の額+⑦の額)×0.8=貸付申込額 <small>(注1)高額療養費支給見込額は右頁にて計算してください。 (注2)100円未満の端数は切り捨てます。</small>				
	( ③の額 円 + ⑤の額 円 + ⑦の額 円 ) × 0.8 = 貸付申込額 円				
被保険者証の 記号番号		事業所の名称 (勤務先)		(電話 )	
フリガナ		性別	男・女	被保険者 生年月日	大正 昭和 平成 年 月 日
被保険者氏名					
療養を 受けた者	氏名	1.	2.	3.	
	生年月日	大・昭・平 年 月 日	大・昭・平 年 月 日	大・昭・平 年 月 日	
被保険者との続柄					
療養を 受けた 医療機関	名称				
	所在地				
療養を受けた期間		年 月 日 から 年 月 日 まで ( 日間 )	年 月 日 から 年 月 日 まで ( 日間 )	年 月 日 から 年 月 日 まで ( 日間 )	
請求された額		円	円	円	
全国健康保険協会高額医療費貸付金貸付規程により貸付金の貸付を受けたいので、上記のとおり申し込みます。 平成 年 月 日 郵便番号 被保険者住所 (申込者) 電話 ( ) - ( ) - ( ) 氏名 印 全国健康保険協会 支部長 殿					
払込希望金融機関 (被保険者の名義)	銀行 金庫 組合	本店 支店 本所 支所	普通 当座 貯蓄	口座番号 フリガナ 口座名義 (申込者)	

- (注) 1. 申込書の記入にあたっては、高額療養費支給申請書の(記入上の注意)を参照してください。  
 2. 所得等の区分欄の「非課税世帯で一定基準未満」とは、各所得毎に必要な経費、控除を差し引いたとき所得がない場合です。  
 3. 払込希望金融機関は該当する金融機関、預金種別に○印をして、名称、店名、申込者の口座番号、口座名義を記入してください。  
 ゆうちょ銀行を希望される場合は、店名、預金種別は記入不要です。

この申込みに係る高額医療費貸付金貸付申込書、高額医療費貸付金借用書、医療費請求書は、個人情報保護法に遵守し、適正に取り扱います。

# 貸付申込額等の計算

1. 高齢者(70歳以上～75歳未満)の場合(老人医療受給者を除く。)

(1) 外来分の計算

氏名	負担割合	医療費請求書の患者(自己)負担額	医療費の総額	高額療養費算定の際の控除額①	一定以上所得者・一般・非課税及び一定基準に満たない (44,400円・12,000円・8,000円)
(1)	1・3				個人ごとにそれぞれ合算して左の欄へご記入ください。 ・限度額を超えた方の合計欄へは高額療養費算定の際の控除額①を超えた方のみを合算し、限度額を超えない方の合計金額欄へはそれ以外の方の合計を記入してください
(2)	1・3				
(3)	1・3				
(4)	1・3				
(5)	1・3				
(6)	1・3				
限度額を超えた方の合計	(ア) 名分	(イ)	(ウ)	控除額の合計②	控除額①×(ア)対象人数=控除額合計 (① 円)×(ア) 円=( 円)
医療費請求書の患者(自己)負担額合計(イ)-高額療養費算定の際の控除額合計②=高額療養費支給見込額③ (イ)の額 円-(②)の額 円=③支給見込額( 円)					

(2) 世帯単位(入院等)の計算

氏名	負担割合	医療費請求書の患者(自己)負担額	医療機関窓口での現物給付	医療費の総額	世帯での医療費の総額(ウ)+(カ)
(1)	1・3				/
(2)	1・3				
(3)	1・3				
(4)	1・3				
(5)	1・3				
(6)外来計算にて限度額を超えない方の合計金額		(ア)		(イ)	
合計((1)から(6)の合計)		(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
高額療養費算定の際の控除額④	一般・非課税世帯・非課税世帯で一定基準未満 一定以上所得者 80,100円+(キ)医療費( 円)-267,000円)×1% ・多数該当 → 44,400円			44,400円	24,600円
医療費請求書の患者(自己)負担額合計((エ)の額+②の額)-高額療養費算定の際の控除額④=高額療養費支給見込額⑤ (エ)の額 円+(②)の額 円-(④)の額 円=⑤支給見込額( 円)					

(注)70歳未満との世帯全体での合算をする場合は高齢者の支給見込額の計算を適用した後70歳未満の支給見込額の計算を適用すること。

2. 70歳未満の場合

氏名	医療費請求書の患者(自己)負担額	医療費の総額	世帯全体での医療費の総額(キ)+(ケ)
(1)			/
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
(6)70歳以上世帯単位にて⑤の支給見込額がない場合の自己負担額(イ)+②の額			
合計((1)から(6)の合計)		(ク)	(ケ)
高額療養費算定の際の控除額⑥	一般 80,100円+(ケ)医療費( 円)-267,000円)×1%	一般 控除額( 円)	35,400円+24,600円
	・世帯全体 80,100円+(イ)世帯全体の医療費( 円)-267,000円)×1%	世帯全体控除額( 円)	
	・多数該当 → 44,400円	44,400円	
	非課税世帯・多数該当		
控除額⑥	上位所得者 150,000円+(ケ)医療費( 円)-500,000円)×1%	上位所得控除額( 円)	83,400円
	・世帯全体 150,000円+(イ)世帯全体の医療費( 円)-500,000円)×1%	世帯全体控除額( 円)	
	・多数該当 → 83,400円	83,400円	
医療費請求書の患者(自己)負担額合計((ク)の額+④の額)-高額療養費算定の際の控除額⑥=高額療養費支給見込額⑦ (ク)の額 円+(④)の額 円-(⑥)の額 円=⑦支給見込額( 円)			

(注)高額療養費支給見込額⑤があるときのみ④の額を記入のこと。

高額療養費支給見込総額	高額療養費支給見込額③+高額療養費支給見込額⑤+高額療養費支給見込額⑦=高額療養費支給見込総額⑧ (③)の額 円+(⑤)の額 円+(⑦)の額 円)=(総額⑧ 円)		
-------------	--	--	--